

2023年9月13日(水)第二水曜祈祷会

コリント人への手紙第二5章1～10節

『願うのは、主に喜ばれること』

序論：『落胆しない』Ⅱコリント4:1-18 \*パウロはただ主の憐れみを受けて使徒となった。

- ①パウロは誰に対しても公明正大に、神のことば(福音)を曲げずに、真理を明らかにしてきた。
- ②パウロたちは「土の器」に過ぎないが、その内にはキリストという「宝」を入れている。
- ③パウロは多くの苦難にあってきたが、それは多くの人々の救いのためであった。

本論：『願うのは、主に喜ばれること』

1. 「幕屋と建物」(1～2節) \*「幕屋」(一時的な宿)と「建物」(永続の住まい)。

①「地上の住まいである幕屋が壊れる」とは何を意味していますか。

→

②キリスト者は死がすべての終わりではないのはなぜですか。

→

③「天から与えられる住まい」とは何を意味していますか。

→

2. 「私たちは心強い」(3～6節) \*「いつも心強い」とは環境に左右されずに心強くいられる。

①「裸の状態であることはない」とはどういうことですか。

→

②私たちの救いのみわざはどのように完成しますか。

→

③「主から離れている」とはどういうことですか。

→

3. 「主に喜ばれること」(7～10節) \*何をするにも主に対してするように(コロサイ3:23)。

①「見えるものによらず、信仰によって歩む」とはどういうことですか。

→

②キリスト者にとって心から願うのは何ですか。

→

③「キリストのさばきの座」とはどういうものですか。

→

【適用と分かち合い】

①「天から与えられる住まい」とはどのようなものだと思いますか。

②私たちの内に御霊が住んでおられることはどうしてわかりますか。

③あなたにとって主に喜ばれることは具体的にどんなことですか。